

第23回輸血検査研修会

平成30年1月28日(日) 長崎大学医学部で第23回輸血検査研修会が開催されました。
受講生12名、実務員8名が参加しました。

研修会の内容

テーマ『カラムを勉強しよう!』

研修の内容：血液型検査、交差適合試験、抗体同定検査、カラム検査、ケーススタディ



寒い中、研修会にご参加いただき
ありがとうございました。

オリエンテーション：松本玲子 班長

実習





解説



本田祐幸 技師



松本玲子 班長

参加者の感想

認定輸血対策を意識して、今回受講させて頂きました。

血球浮遊液の作り方から、基本的な所をもう1度見直すことができたので良かったです。

今回の反省点を普通の業務や試験勉強を行ううえで生かしていきたいと思います。

すごくためになりました。時間配分も、実習の流れもすごくやりやすかったです。

ただ、解説がもう少しゆっくりだったらな、と感じました。ありがとうございました。

反応（凝集）がとれていないところがあったので、洗浄の方法や試験管の振り方などの基本的なところをもう一度しっかり確認したいと思いました。

スポイトに名前を記入することや試験管に自分の名前を記入するといったことがまだまだ身に付いていないので、流れの中であたり前にできるようにしていきたいと思いました。

普通の業務だけでは気が付かないことや、業務をする上でも重要なことに多く気付くことができ、すごく勉強になりました。

スタッフの方々、お忙しいところ研修会を開催して頂きありがとうございます。

研修会を通して知り合った方と連絡先を交換することができたので知らない事はどんどんきいていこうと思います。

認定試験に沿った内容で、緊張感を持って実施できた。試験でこういったところを注意すべきか確認できました。

また、自分の検査について注意していただけたので今後はそこを注意して検査をしていきたいと思います。

まだまだ知識不足で、原因や追加検査、主治医への報告のところがむずかしかったです。また、凝集をしっかりとれていないところもあったりして、しっかり基礎的な手技を教えてもらえたのでよかったです。

受講生に対し、輸血認定技師の方がたくさんついて実技を教えてください、とても勉強になりました。じぶんでは正しい方法で行っているつもりだったので指摘して頂くことで修正できたと思います。

時間が足りなくなり、解説が急いでされていたので、メモをとるのが間に合わないところがあったので、解答を印刷したものをもらえると、もっと良かったかなと思いました。

認定資格を持った指導者の方々が、実際の試験に役立つような情報（判定済みの試験管はあとで比較するためにとっておいた方がよい、スポイトにも名前を書くなど）を教えてください、ありがとうございました。

私は臨床でスライド法を実施したことがなかったので、やり方を尋ねたところ、基本的な手技や注意点などを細かく教えてください、ありがとうございました。どんな経験年数の方にも参加しやすい研修会だと感じた。

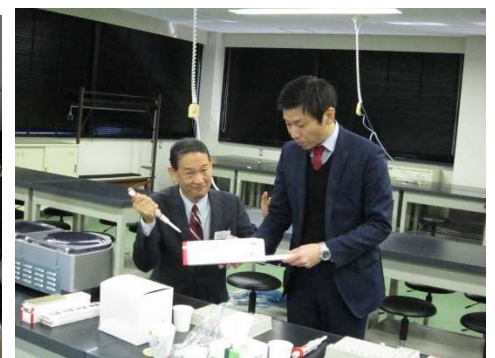
認定試験受験予定ですが、実技の練習はしたことがなかったので参考になりました。

指摘されたことを注意して、これからのルーチン業務にも生かしていきたいと思います。

間違っ手技をしていた時に、実務員の方が間違っていると気づいたら、後からではなく、その時に指摘してほしかったなと思いました。

わからない部分を細かに教えてください、理解することができた。普段ルーチンでやっている動作や手法に所々間違いがあることを再認識することができよかった。この結果がでたから次の追加試験は何を行わなければならないのか、即座に思いつくことができず、まだまだ足りないものがあるということに気付くことができた。

会場設営



参加者の皆さま、ご参加ありがとうございました。疑問点等ありましたら実務員に気楽にご連絡下さい。オーソ様、カイノス様、実務員の皆様、設営・片づけをお手伝い下さった皆様、お疲れ様でした。